

公益社団法人日本技術士会 CPD行事实施報告書

開始日時	平成26年12月13日(土)	14時00分
終了日時	平成26年12月13日(土)	16時30分
名 称	第20回CPD講演会	
主 催 者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	千葉商工会議所14階 第2ホールAB(千葉市中央区中央2-5-1)	
行事内容	<p>企業トップによる講演会 主テーマ:「開発に果敢に挑戦する企業」 開会挨拶(主催者側代表)</p> <p>講演1「高付加価値を生み出す加工技術の開発」 -切削加工・パイプ加工に替わる細物深絞り加工- 講師: 岩瀬 利明 氏(船橋電子(株)代表取締役社長)</p> <p>講演2「プロダクツアウト型?、マーケットイン型?」 講師代理: 桑島 英明氏(技術士 金属部門) 千葉県支部 企業支援チームリーダー (中根 昭 氏(三立機械工業(株)会長)インフルエンザのため欠席)</p> <p>質疑応答・名刺交換会</p>	
参加人員	33名(内企業参加者 9名)	

第20回CPD講演会は開発に果敢に挑戦する千葉県の企業トップによる講演会を開催した。

金型設計・製作・加工までの一貫生産による細物絞り加工メーカーの船橋電子(株)(本年4月、東証1部(株)アドバネクスグループの一員となる)社長、ならびに廃電線リサイクル処理機パイオニアメーカーの2講演であった。

講演1の船橋電子は昭和11年に設立し、種々の絞り加工の技術開発にチャレンジしてきた。他社ではできないユーザーからの製品要請に対し、製品に見合った金型設計・製作、ならびにプレス機などを自社開発して対応し、技術の資産化を図ってきた。今では、切削加工、パイプ加工の製品をトランスファープレスによる深絞り加工の技術開発にチャレンジして、省人、省エネ、高生産性ならびにコスト低減による高付加価値生産を実現している。また、技術・技能の伝承には、新しい伝承方法を適用して定年退職者のベテランが新人の短期育成に取り組んでいる。

講演は実物の製品を持ち込んでの熱演であった

講演2は予定の中根会長がインフルエンザのため急きょ会長から何とか代行してほしいということで当支部の桑島技術士に講師の代役をお願いした。会長が作成した原稿に沿って講演を代行した。

三立機械工業は昭和52年に設立し、廃電線リサイクル処理装置の技術開発にチャレンジしてきた。本処理装置は家電・OA機器、自動車の廃電線を銅と樹脂に再資源化している。

また、リサイクルが難しいと言われていた制御用電線、通信用の細い線なども銅と樹脂に分離、再資源化することにも成功した。

